

都市計画道路の見直しは

質問 選挙前の最終議会で「都市計画道路の見直しについて」話されたが、この計画は平成12年に都市計画道路として指定されたもの。なぜ30年度廃止なのか。これまで検討しなかったのか。

市長 奥州市には57路線の都市計画道路があり、今回は7路線が除外された。都市計画道路は、都市の骨格を形成し安心安全な都市を確保するための基幹道路をつくるもの。人口減少、高齢化など社会状況が変化していることから、県で21年に策定した「都市計画道路の見直しマニュアル」をもとに、26年度に国の補助金を活用し、見直しに着手した。今年度中にその結果について告示決定をする予定。

質問 市民説明について、市民の反応は。

市長 地権者を中心に説明をした。今後地域ごとに説明会を計画している。

質問 都市計画道路から除外された道路について、前沢中央線はカンブンの県道までは通すと発言されているが、いつ工事をするのか。

市長 現時点では市内未着手の路線について着手の予定は立っていない。

質問 今回都市計画道路から除外されることが決まった地域は、今後これに代わる計画、具体策はないものか。

市長 地域の考え方をもとに、道路整備



整備が待たれる道路



整備済みの道路

備プログラムに組み込みながら整備していくことになる。



菅原 圭子 議員(奥州みらい)

出産・子育てしやすい環境が大切

質問 出産から子育てまでの環境整備が大切と考える。年間約800人の赤ちゃんが生まれるが、市内では400人の出産しか受け入れられない。改善策として総合水沢病院に産婦人科医の招へいを求める。

市長 医師不足で難しい。地元医師会、医科大、県に引き続き要請していく。

質問 待機児童対策をどう考えるか。

市長 保育士等奨学金返済支援補助金で改善につなげる。

質問 (仮称)前沢北こども園新設に当たり、保護者、関係者への説明を万全に行うのか。

市長 保護者、現場に配慮しながら進める。

質問 前沢・古城放課後児童クラブは旧校舎を利用しているが、床や壁のカビ、ヒビ割れ等があり、子どもの健康や安全に不安がある。

市長 必要な部分の修繕を行い、子どもの環境に努める。

市の自殺防止策は

質問 市は自殺防止にどう取り組んでいるのか。



修繕が待たれる前沢放課後児童クラブ

有害鳥獣に負けないために

質問 有害鳥獣対策はどのようにしているか。

市長 箱わな、電気柵補助等、有害鳥獣を寄せ付けない環境整備が大切である。また、若手ハンター育成も検討する。



千葉 康弘 議員(奥州みらい)